

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

放送業務委員会（第 40 回）議事概要（案）

日時：令和 3 年 2 月 24 日（水）10:00～11:40

場所：Web 会議(Skype for business)

出席者：

都竹主査（名城大学）、伊丹委員（東京理科大学）
 岩田専門委員（(株)テレビ東京）、浦野専門委員（日本テレビ放送網(株)）、
 岡村専門委員（(株)テレビ朝日）、児玉圭司専門委員（日本放送協会）、
 児玉俊介専門委員（(一社)電波産業会）、下地専門委員（パナソニック(株)）、
 内藤専門委員（(株)KDDI 総合研究所）、中村専門委員（日本放送協会）、
 西田専門委員（日本放送協会）、廣野専門委員（(株)フジテレビジョン）、
 深澤専門委員（(株)TBS テレビ）、山影専門委員（東芝インフラシステムズ(株)）

事務局：

総務省 情報流通行政局 放送技術課

荻原課長、福島技術企画官、服部補佐、植田係長、伊地知官

【配布資料一覧】

資料 放-40-1	放送業務委員会（第 39 回）議事概要（案）
資料 放-40-2	2021 年 3 月 ITU-R SG6 及び各 WP 会合の概要
資料 放-40-3	<u>放送業務 WG における検討結果</u>
資料 放-40-4	<u>外国寄与文書審議表（案）一覧</u>
資料 放-40-5	<u>日本寄与文書（案）一覧</u>
資料 放-40-6	<u>ITU-R SG6 及び各 WP 会合への対処方針（案）</u>
資料 放-40-7	今後の検討スケジュール（案）
資料 放-40-8 （参考資料）	国際電気通信連合（ITU）2023 年世界無線通信会議 （WRC-23）の議題一覧（第 146 回情報通信審議会情報通 信技術分科会資料一部抜粋）
資料 放-40-9 （参考資料）	放送業務委員会構成員名簿
資料 放-40-10 （参考資料）	2020 年 10 月 ITU-R SG6 会合後に承認された勧告等
資料 放-40-11 （参考資料）	ITU 部会における委員会の設置及び運営について （ITU 部会決定第 5 号）

※下線部の資料は構成員及び関係者限り。

議事概要

1. 配布資料の確認

事務局より、配布資料の確認が行われた。

2. 主査指名の紹介、主査代理の指名

事務局より、2月3日に開催された情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU 分科会(第17回)において、都竹専門委員が放送業務委員会の主査として指名されたことが紹介された。その後、都竹主査より、伊丹委員が主査代理として指名された。

3. 前回議事概要の確認

都竹主査より、資料 放-40-1「放送業務委員会(第39回)議事概要(案)」に基づき、第39回放送業務委員会の議事概要案が確認された。議事概要案について構成員からの意見はなく、案のとおり総務省 HP に掲載することとなった。

4. ITU-R SG6 及び各 WP 会合への対処について

4.1. ITU-R SG6 及び各 WP 会合の概要について

事務局より、資料 放-40-2「2021年3月 ITU-R SG6 及び各 WP 会合の概要」に基づき、次回の ITU-R SG6 及び各 WP 会合について説明が行われた。

4.2. 外国寄与文書への対処案について

西田専門委員より、資料 放-40-3「放送業務 WG における検討結果」及び資料 放-40-4「外国寄与文書審議表(案)一覧」に基づき、外国寄与文書の審議表案について説明が行われた。質疑の概要は次のとおり。

【6B/68 An.6 新勧告草案 ITU-R BS. [NPAD-IF]に向けた作業文書 番組制作と交換のためのデジタル音声インタフェースによる非 PCM 音声信号とデータの伝送方法】

都竹主査： 自己完結型にするとあるが、参照型のデメリットはあるのか。

西田専門委員： 参照先が複数の規格となっており、ユーザが規格の関係性等を把握しづらく、利便性も良くない。

【6B/72 新勧告草案 ITU-T J. 208 (J. ACF-HRM) 「IBB DTV アプリケーション制御フレームワークの調和」の AAP コンセントに関するリエゾン文書】

下地専門委員： ITU-R レポートを基にして ITU-T で勧告された内容を全て ITU-R で勧告化するのは良くないとのことだが、WP6B で基準はあるのか。

西田専門委員： 具体的な判断基準はないが、J. 208 では元の ITU-R レポートにある考察等も含めて記載されている。ITU-T と ITU-R では勧告の性質が異なるかもしれないが、ITU-R 勧告では真に必要な情報のみを記載するのが良いと考えている。

4.3. 日本寄与文書案について

西田専門委員より、資料 放-40-3「放送業務 WG における検討結果」及び資料 放-40-5「日本寄与文書（案）一覧」に基づき、日本からの寄与文書案について説明が行われた。質疑の概要は次のとおり。

【A1 新たな放送サービス導入手法の検討】

中村専門委員： FIGURE 3.6 に” new antenna” とあるが、新方式であっても使用するチャンネルによって、既存のアンテナで対応できる場合があり、既存アンテナの周波数帯域が対応していないチャンネルで伝送する場合には新しいアンテナが必要となる。既存のアンテナでも問題ない場合があると思われるので、その旨適切な表現にしていだけないか。

西田専門委員： ご指摘のとおり必ずしも新規アンテナである必要はないので表現を改めたい。新方式を MIMO とする場合は新規アンテナが必要となるが、周波数にもよるものの基本は既存アンテナで問題無いと思う。

【B1 勧告 ITU-R BT. 2077-2 改訂草案に対する修正提案「UHDTV 信号用シリアルデジタルインタフェース」】

山影専門委員： TABLE 1 の Physical layer の Part 2 について、256, 608 とあるが、“,” は”.” の間違いではないか。

西田専門委員： ご指摘のとおりなので、修正する。

【B2 HEVC コーデックを用いた番組制作・交換用 UHDTV ファイル用の符号化】

浦野専門委員： 勧告 BT. 1203 にはファイルフォーマットに関する要求条件が既に記載されているのか。また、日本の実験情報を今回提供するということだが、同様の話が海外でもあるのか周辺状況を教えていただきたい。

西田専門委員： Table 7 に Studio production に関連する箇所があり、今回、“ See Table 6” を追記して補足している。国外では、例えば AMWA でファイルフォーマットが規定されているが ITU-R への寄与はない。また、現状は HEVC ではなく AVC を用いたものと認識している。

浦野専門委員： ファイル側のコーデックの要求条件が既存のリアルタイム前提の要求条件と異なるといったため質問した次第である。ノンリアルタイムなら所要のビットレートが変わる可能性があるのかと思った。

西田専門委員： ファイル化する際にリアルタイム性は求められないと思うが、再生時はリアルタイム性が求められるという考え方はあると思う。

4.4. ITU-R SG6 及び各 WP 会合への対処方針案について

事務局より、資料 放-40-6「ITU-R SG6 及び各 WP 会合への対処方針（案）」に基づき、SG6 及び各 WP 会合への対処方針案について説明が行われた。

5. その他

5.1. 今後のスケジュールについて

事務局より、資料 放-40-7「今後のスケジュール（案）」に基づき、3月の ITU-R SG6 及び各 WP 会合に関する今後のスケジュールについて説明が行われた。

以上